

木質バイオマスボイラー導入 検討しませんか？

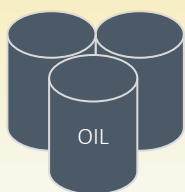
熱利用が
いちばん！

「ボイラー導入診断」で投資効果を明確にします！

木質バイオマスへの切替えて…

- 燃料費の低減
- CO2排出の削減、森林整備
- 地域でのお金の循環、雇用創出

木質バイオマス利用は、森林資源を持つ自治体を中心に、増加傾向にあります。木質バイオマスボイラーは、その代表であり、中小規模の施設でも導入可能な手段です。(株)森のエネルギー研究所は、木質バイオマス専門のコンサルタントとして、効果的なバイオマスボイラーの導入を支援いたします。



化石燃料



丸太(薪)



チップ



ペレット



木質バイオマス燃料

導入対象例



温泉・宿泊施設



温水プール



ハウス園芸施設

当社業務の特徴

ステップ1

導入対象施設への
ヒアリングと、時間ごとの
燃料消費量の実地計測を
行います。

ステップ2

当社独自の分析方法
により、導入対象施設の
熱需要パターンを正確に
把握します。

ステップ3

燃料種類や、ボイラー規
模、設備構成など
多面的なシミュレーション
を実施します。

[詳しい調査内容は裏面をご覧ください→](#)

ボイラー導入診断の流れ

効果的なボイラー導入に必要な条件

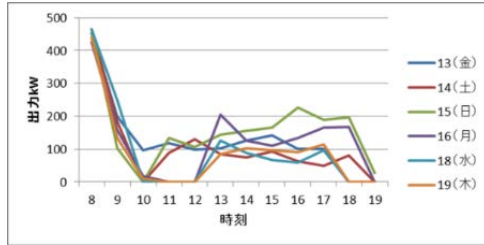
ステップ1 → ヒアリング・実測

- 施設の利用状況
- 燃料消費量
- 設備構成
- 稼働状況
- etc...



ステップ2 → 正確な熱需要把握

- 曜日、季節ごとのパターン
- 一日の熱利用量推移
- etc...



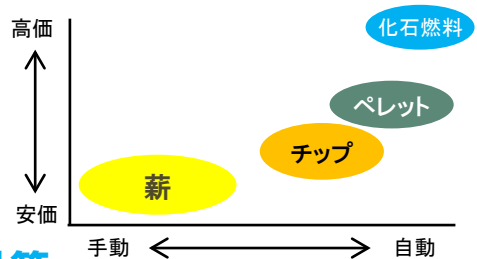
- ✓ ボイラーの適正出力の選定
- ✓ 蓄熱タンクの容量選定
- ✓ 全体システム構築
- ✓ 安定した燃料調達
- ✓ アフターフォローを含めたメーカー選定
- ✓ 運用後の効果確認、フォロー

最も投資効果の高い導入方法を提案します！

ステップ3 → シミュレーション

木質燃料の種類

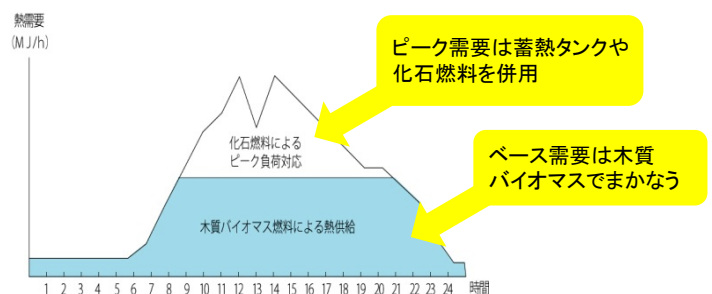
- その地域の燃料製造状況、価格状況
- 導入施設での使用可能面積、運用体制
- 初期投資コストと燃料費削減メリットのバランス
- これらを考慮して持続的な運用を可能にします！



バイオマスボイラーの出力、蓄熱タンク容量等

- 規模が過大だと初期投資が高額になり、採算性の悪化につながります。
- ボイラーや蓄熱タンクの規模を変動させたときの、初期投資額と燃料費削減額のそれぞれの増減から最適なポイントを見つけます。
- 豊富な実績とノウハウを活かし、客観的なアドバイスと運用のフォローをします！

規模	小	大
イニシャルコスト	← 安	高 →
燃料費削減額	← 少	多 →



一級建築士事務所
株式会社

森のエネルギー研究所

〒205-0001 東京都羽村市小作台1-4-21 KTDキョーワビル小作台3F

TEL: 042-578-5130 FAX: 042-578-5131

<http://www.mori-energy.jp>

E-mail: support@mori-energy.jp

業務受託範囲は
ご相談ください